

会費納入のお願いと支部運営についてのご報告（重要） 研修会のご案内

東京支部会員の皆様には、それぞれの領域・職場にてご活躍のことと存じます。

さて、日本臨床発達心理士会、及び日本臨床発達心理士会東京支部からのご案内やニュースレター等で、支部会費納入についてのお願いを繰り返しておりますが、支部に直接支払う方の中で現在まだ未納の方がいらっしゃいます。

- ☆ 各支部の活動は、会費によって運営を行っております。
支部会費の滞納は支部の運営を困難にしますので、未納の方は、至急お支払いいただけますようお願い申し上げます（5月末の時点での所属会員対象）。

なお、2009年9月23日現在の納入状況は下記の通りです。

会費納入	予算額	2,000 × 516 名	= 1,032,000
	納入額	2,000 × 360 名	= 720,000
	未納額	2,000 × 156 名	= 312,000

- * 2005-2007 年度会員 952～1808 番の会員の方は、既に会員登録時に全国士会を通して納入して頂いておりますので、2009 年度の支部会費納入は必要ありません。

【郵便振替】口座番号：00160-8-565262 加入者名：日本臨床発達心理士会東京支部
●金額：¥2,000 ●通信欄：①登録番号 ②氏名 ③メールアドレス

- ☆ 経費節減のため、ニュースレター配信のできるアドレス登録をお願いします。

- * 現在のアドレス登録は会員 516 名中約 163 名です（9 月 23 日付）。
- * ニュースレターをホームページからダウンロードできる PC アドレスをご登録ください（東京支部 HP よりご登録ください（<http://www.jocdp-tokyo.net/>））。

- ☆ 上記のほかに、経費節減のため東京支部では下記の対応策を講じております。

- * ニュースレター等の郵送・印刷費の削減（特別支援学校の印刷を活用する）
- * 事務経費の削減（予定していたアルバイトによる作業を役員が行うなど）
- * 研修会会場費の削減（低費用の会場の使用）
- * 研修会実施に伴う経費の見直し（研修会経費を受講費によって補う）

- ☆ 第二回資格更新研修会を有料とさせていただきます。

これまで東京支部では他支部と異なり、巡回相談員養成のための「特別研修」以外の研修会費を無料としてきましたが、上記のような会計状況のため、第二回資格更新研修会を有料とさせていただきます。

2009 年度総会にて、「研修会参加費無料」の予算案で皆様からご承認を頂いていますが、上記のような状況ですので、今回の措置とさせていただきます。会費納入方法が今年度から変わったために納入進捗状況の予測が不十分であったこと、そのために研修会受講費を年度途中で変更せざるを得なかったことにつきましてお詫び申し上げますと共に、何とぞ状況をご理解の上ご了承いただけますよう、御願い申し上げます。

日本臨床発達心理士会東京支部

2009 年度 第 2 回資格更新研修会のご案内

下記のような内容で、「第 2 回資格更新研修会」を企画いたしました。多数のご参加をお待ちしております。

- 日 時： 2009 年 12 月 13 日（日）
- 場 所： 筑波大学大塚キャンパス G204 教室
東京メトロ丸の内線 茗荷谷駅下車 徒歩 3 分
http://www.tsukuba.ac.jp/access/otsuka_access.html
会場に駐車場はありませんので、お車でのご来場はお控えください。

- 参加費： 1 講義 1,000 円 2 講義 2,000 円 当日、受付でお支払ください。
- 定 員： 80 名
- 参加条件： 臨床発達心理士有資格者で、今年度分までの会費（全国士会会費

と支部会費のいずれも）をすべて納めていること。他支部の方の参加もお受けしますが、定員を超える場合は東京支部会員を優先します。毎回、当日参加の方が多く、資料不足などのご迷惑をおかけしております。それを解消するために、事前申し込みを前提とさせていただきます（申し込み方法、後述）

【研修会 1】 午前の部（9:30～12:30） 受付 9:00～9:30 A 区分研修 1 ポイント
テーマ： **最近の保育概況と発達支援のポイント**
講 師： 柴崎正行（大妻女子大学 家政学部児童学科）
要 旨： 保育所保育指針の改訂内容をはじめ、保育に関わる臨床発達心理士が、最低限知っておく必要のある最近の保育概況についてお話いただくと共に、それを踏まえた上で、具体的な発達支援の方法についてご講演いただく予定です。

【研修会 2】 午後の部（13:30～16:30） 受付 12:30～13:00 A 区分研修 1 ポイント
テーマ： **視覚障害、視知覚障害のある子どもの評価と指導**
講 師： 佐島毅（筑波大学障害科学系人間総合科学研究科）
要 旨： 特別支援教育や幼児期の発達支援において、視覚への配慮をすることが学習面でも、行動形成でも重要であることなど踏まえ、視覚障害、視知覚障害など、視覚に配慮が必要な子どもの評価と具体的な指導について、実際の事例を交えてご講演いただく予定です。

- 申し込み方法： 東京支部のHP（<http://www.jocdp-tokyo.net/>）からお申し込み下さい。

お問い合わせは、jimu@jocdp-tokyo.net まで。

人数確認と当日の資料準備のため、12月7日（月）までにお申し込み下さい。
席に空きがある場合のみ、当日参加を先着順にお受け致します。

- 諸注意・・・必ずお読みください。

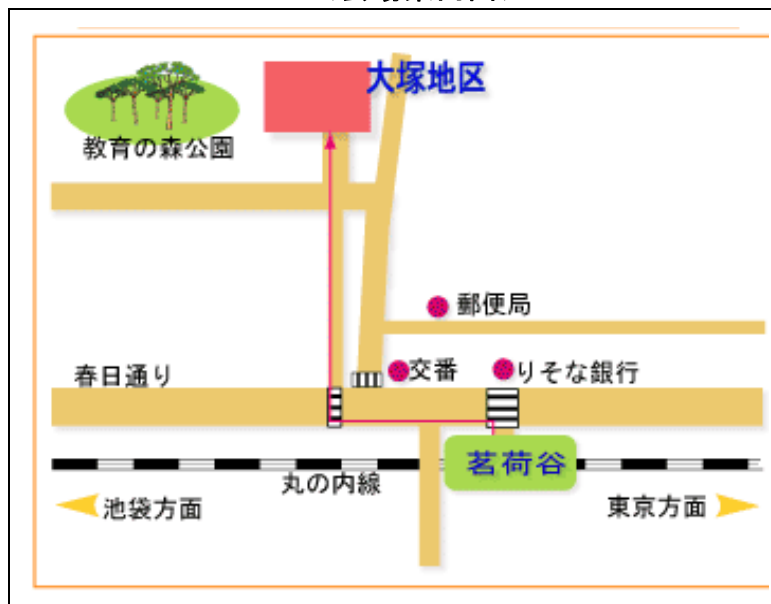
- ★IDカード、資格更新研修会参加記録ノート（記録ノート）を必ずご持参下さい。
お忘れの場合はポイントは発行できません。
- ★会費納入の確認として、振替払込受領書を記録ノートの後ろに添付していただい

ると助かります。

★事前に記録ノートに必要事項をご記入の上、受付を行って下さい。記録ノートは、研修会終了後にお返しいたします。

★遅刻者には、ポイントを交付できません。

<会場案内図>



■■ 付録：記録ノート貼り付け用紙 ■■

資格更新研修会参加記録ノートの枠のサイズを基準に、研究会名称等を付記した用紙を作成しました。下記の用紙をコピーし、太線に沿って切り取って貼り付け、研修会でご使用ください。（もちろんノートに、直接手書きいただいてもかまいません）

	研修会名	月日	ポイント
午前	2009 年度日本臨床発達心理士会	2009 年	
	第2回 東京支部資格更新研修会 午前の部	12 月	1
	最近の保育概況と発達支援のポイント	13 日	
午後	2009 年度日本臨床発達心理士会	2009 年	
	第2回 東京支部資格更新研修会 午後の部	12 月	1
	視覚障害、視知覚障害のある子どもの評価と指導	13 日	

子育て・発達支援ネットワーク 第2回研修会

臨床発達心理士が関わる領域の一つとして最も多いのが、乳幼児期の発達支援機関、保育園や幼稚園への巡回相談、保健センターの乳幼児健康診査、子ども家庭支援センターなど、乳幼児期の育児・発達支援領域です。より質の高い支援を提供していくためには、地域の関係機関のネットワークを密にしていくこと、他の機関の新しい取り組みや最新の情報を得ること、これらを通して時代や社会の動きを捉えることが大切です。特に今、障害者自立支援法の施行、幼稚園教育要領、保育所保育指針の改訂に伴い、各地・各所で新しい動きが始まっています。

第二回目の研修会では、江東区こども発達扇橋センターを会場にして、保育・幼稚園での発達支援をテーマに、東京都モデル事業、区の巡回相談について、橋場隆氏より話題提案をしていただく予定です。その後、みなさんと各区の取り組みや巡回相談・訪問事業等、臨床発達心理士が関わる事業の中で、臨床発達心理士に求められている役割についてなど、情報交換・意見交換を行います。

臨床発達心理士に求められる縦・横の連携とフットワーク力、パーソナルネットワークを育てていくために、是非「子育て・発達支援ネットワーク」にご参加下さい。

<受講条件>

臨床発達心理士有資格者で、今年度分までの会費（全国士会・支部会費のいずれも）を納めていること。

<日程とプログラム>

2009年 11月15日（日）13：00～16：00（12：30受付）

- 1）話題提案：橋場 隆氏
- 2）参加者の方からの情報提供
- 3）情報交換、意見交換

<会 場>江東区こども発達扇橋センターC.O.C.O.（住吉駅）
江東区扇橋 3-7-2 江東区障害者福祉センター 1階

<申し込み方法>

東京支部HP<http://www.jocdp-tokyo.net/>よりお申し込み下さい。

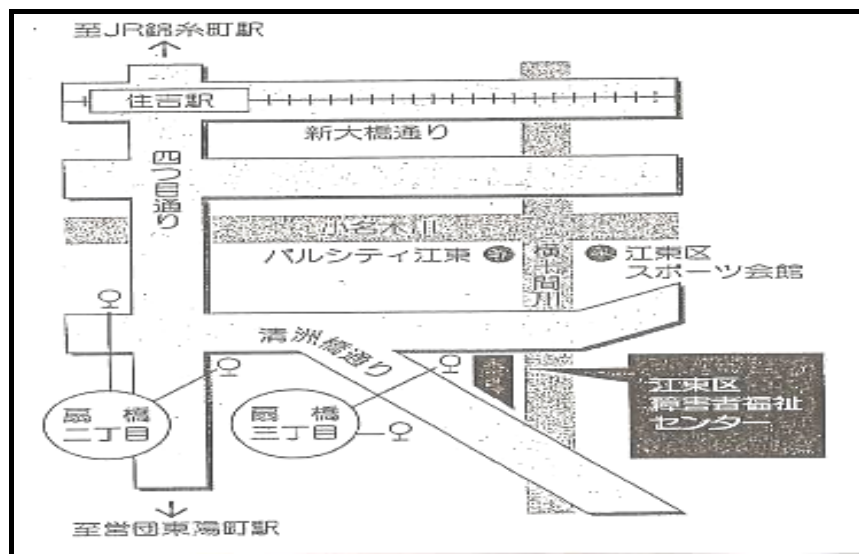
お問い合わせは jimu@jocdp-tokyo.net まで。

<受講費> 無料 <資格更新ポイント> 3時間の1講義で1ポイントです。
<当日の注意>

- ☆ IDカード、資格更新研修会参加記録ノート（以下、記録ノート）を必ずご持参下さい。
お忘れになった場合は、受講できません。
- ☆ 事前に、記録ノートに必要事項をご記入いただいた上で、受付を行って下さい。
- ☆ 記録ノートは、研修会終了後にお返しいたします。
- ☆ 遅刻者、早退者には、ポイントが交付されません。

※会場案内

<こども発達扇橋センター>



東京メトロ半蔵門線 住吉駅 徒歩12分

都バス

秋26 白河方面から（葛西駅行） 扇橋三丁目下車徒歩1分

秋26 葛西橋方面から（秋葉原駅行） 扇橋三丁目下車徒歩1分

東22 錦糸町駅前から（東京駅北口・東陽町駅行） 扇橋二丁目下車徒歩5分

東22 東陽町駅から（錦糸町駅行） 扇橋二丁目下車徒歩5分

※お知らせ

第三回研修会は、2010年2月の土曜日、

会場は「足立区障がい福祉センターあしすと」を予定しています。

（今後、日本臨床発達心理士会東京支部ホームページをご覧ください。）

日本臨床発達心理士会 東京支部主催
発達臨床研究ネットワーク 第2回研修会

＜発達臨床研究NWは何をめざすのか？＞

発達臨床の「研究」とは、事例報告を超えた、発達の説明をめざすべきものである。臨床発達心理学の独自の領域と研究の質を高めるような指向性のあるものをここでは試みている。有資格者であって、とくに研究者の参加を期待したい。研究者でなくても研究への関心のある人びとの参加も歓迎したい。参加者は、東京支部に限ることなく受入れることにしたい。

＜今回のテーマ＞

第1部「観察・事例・ナラティブによる研究の探求1」

観察・面接データの発達臨床的な「研究」とはどうあるべきについて、実際の研究例から考えてみようではありませんか？

【司会・コメント 須田治】

講師1) 根ヶ山光一(早稲田大学)

「発達初期のタッチング研究と発達臨床」

その方法や解析ソフトにも触れていただきます。

講師2) 田中あかり(首都大学東京大学院)

「幼稚園教師と子どもの間の情動調整機能の変化—現場をとらえる」

第2部「発達臨床研究方法への相談会」

研究相談、発達臨床的な課題について具体的説明、相談できる時間をとります。

(時間配分は第1部をほとんどとする)

● 日 時： 2009年12月20日(日) 13～16時

● 場 所： 首都大学東京 南大沢キャンパス 91年館

● 参加費： 1,000円(会場にて) ● 参加ポイント 3時間1ポイント

● 定 員： 80名

● 参加条件： 臨床発達心理士有資格者で、今年度分までの会費(全国士会会費

と支部会費のいずれも)をすべて納めていること。

● 申込方法： 東京支部のHP (<http://www.jocdp-tokyo.net/>) からお申し込み下さい。

● 問合せは、jimu@jocdp-tokyo.net まで。

● 12月5日(土) 締切

● 諸注意・・・必ずお読みください。

★ IDカード、資格更新研修会参加記録ノート(記録ノート)を必ずご持参下さい。

★ お忘れの場合や遅刻・早退の場合はポイントは発行できません。

★ 事前に、記録ノートに必要事項をご記入いただいた上で、受付を行って下さい。

★ 記録ノートは、研修会終了後にお返しいたします。

＜会場＞首都大学東京 南大沢キャンパス（京王相模原線 南大沢駅 徒歩１０分）

